

1) 現況図

47400  
47350  
47300  
47250  
47200

8350

8400

8450

8500

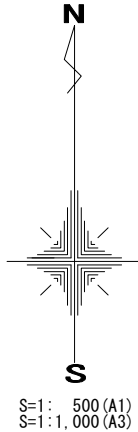
8550

8600

8650

8700

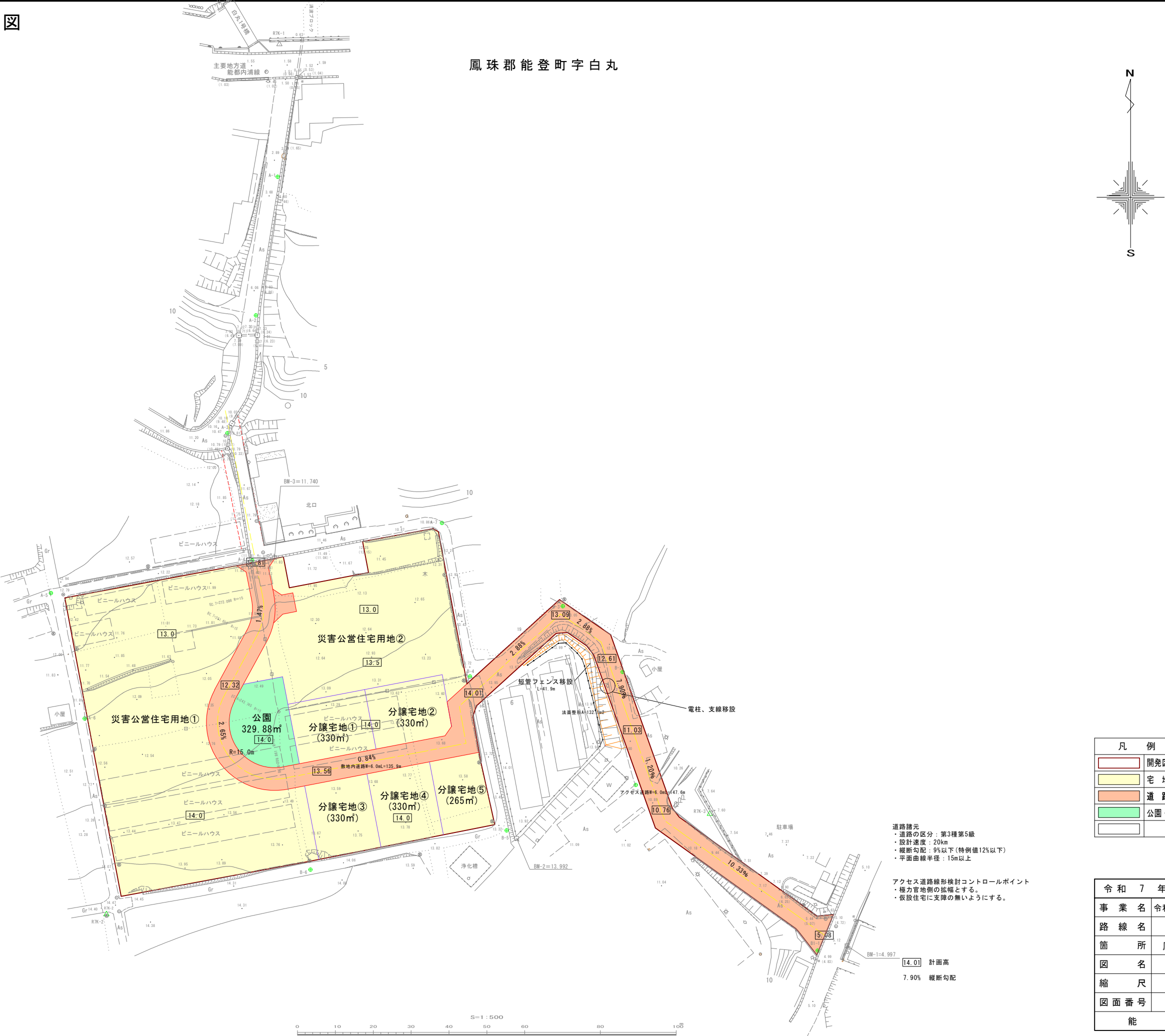
X=1+  
X=1+  
X=1+  
X=1+  
X=1+  
X=1+



凡 例	
<span style="border: 2px solid red; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	開発区域 : 8,757.25㎡
<span style="border-bottom: 2px dashed orange; display: inline-block; width: 20px;"></span>	字 界

令和 7 年度		測地成果 2024
事業名	令和7年度 都市防災総合推進事業	
路線名		
箇所	鳳珠郡能登町字白丸地内	
図名	現況図	
縮尺	S=1: 500 (A1) S=1:1,000 (A3)	
図面番号	3 / 16	
能 登 町		

2) 土地利用計画図



凡 例 (CAD求積)	
<div></div>	開発区域 : 8,757.25㎡
<div></div>	宅 地 : 6,681.68㎡
<div></div>	道 路 : 1,745.69㎡
<div></div>	公園・広場 : 329.88㎡
<div></div>	

道路諸元  
・道路の区分：第3種第5級  
・設計速度：20km  
・縦断勾配：9%以下(特例値12%以下)  
・平面曲線半径：15m以上

アクセス道路線形検討コントロールポイント  
・極力官地側の抵幅とする。  
・仮設住宅に支障の無いようにする。

令和 7 年度	測地成果 2024
事業名	令和7年度 都市防災総合推進事業
路線名	
箇所	鳳珠郡能登町字白丸地内
図 名	土地利用計画図
縮 尺	S=1: 500 (A1) S=1:1,000 (A3)
図面番号	1/1 枚の内
能 登 町	

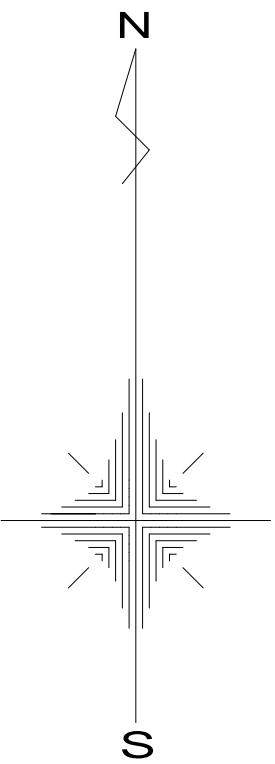
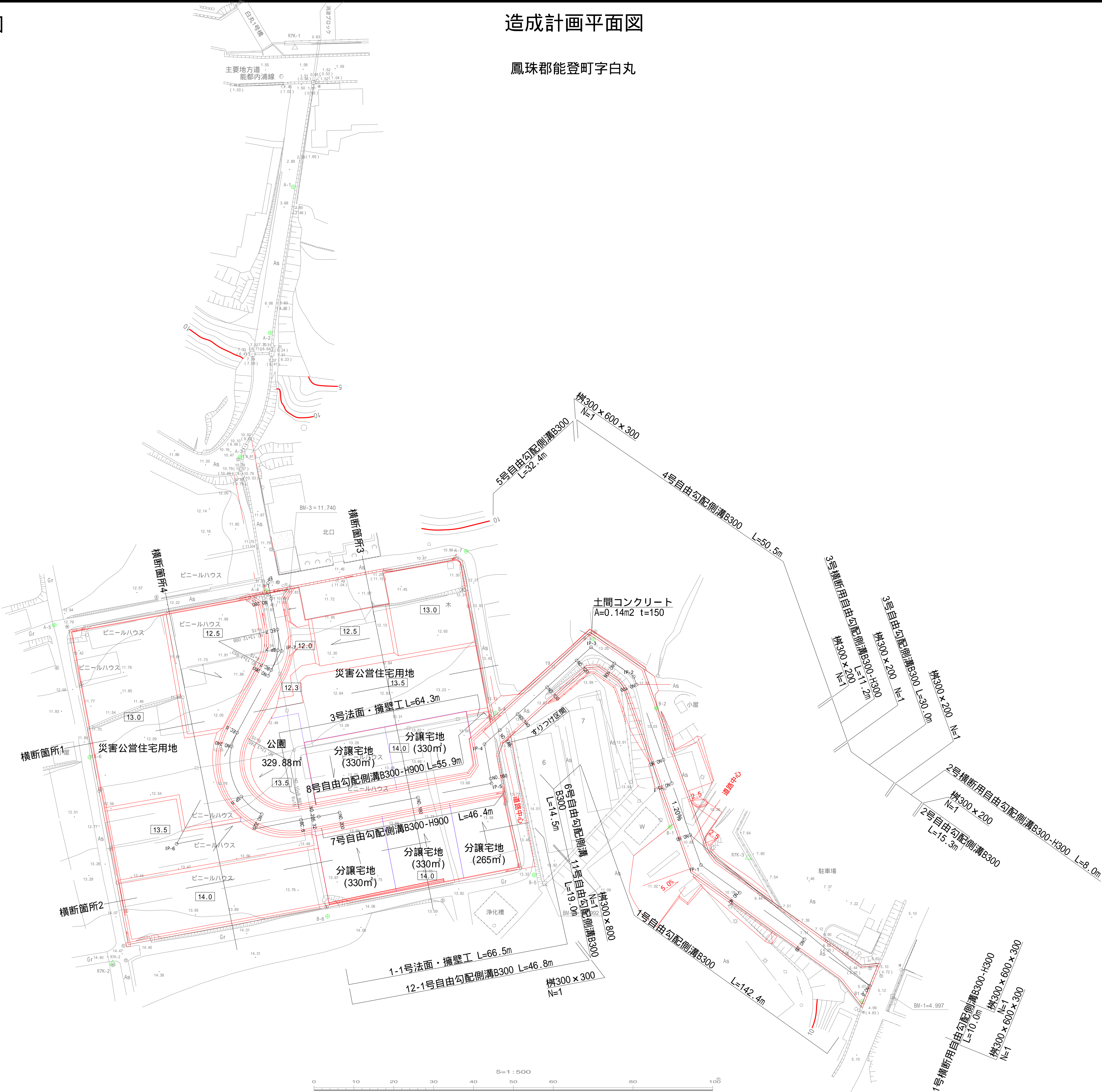


3) 造成計画平面図

【1工区】

造成計画平面図

鳳珠郡能登町字白丸



14.01 造成計画高

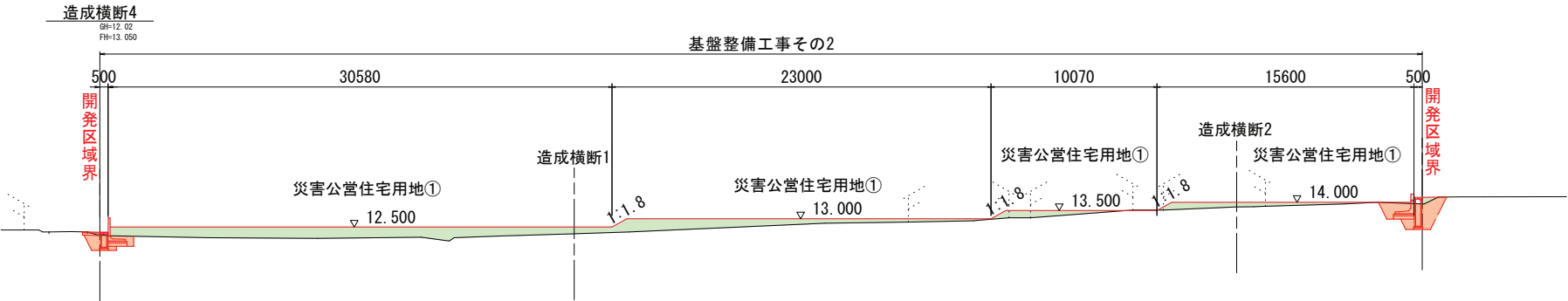
令和 7 年度		測地成果 2024
事業名	令和7年度 都市防災総合推進事業	
路線名		
箇所	鳳珠郡能登町字白丸地内	
図名	造成計画平面図	
縮尺	S=1: 500(A1) S=1:1,000(A3)	
図面番号	1/1	枚の内
能登町		



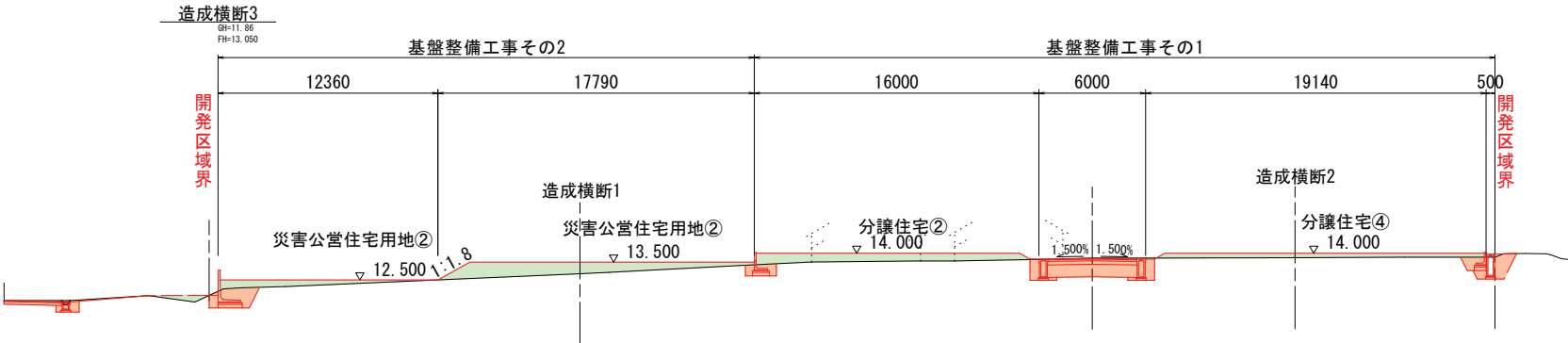
$X=147200$ 

令和7年12月7日 株式会社国土開発センター 製作

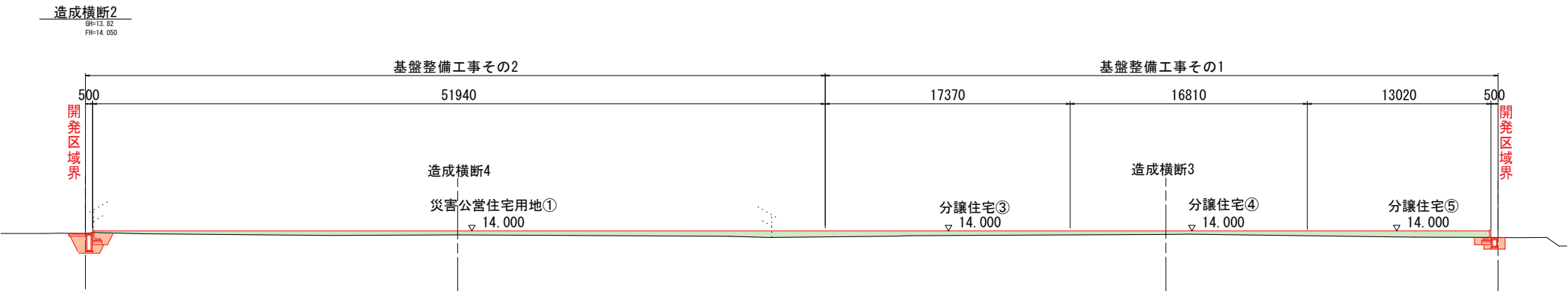
4) 造成計画断面図



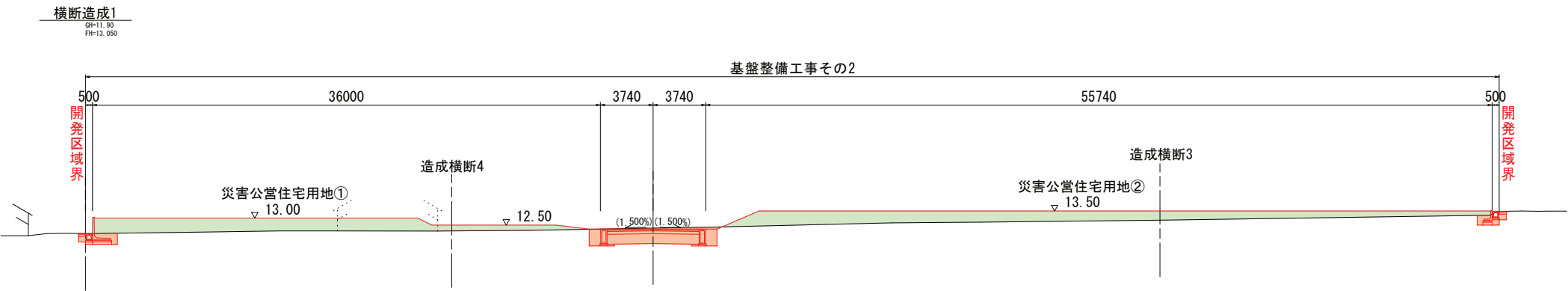
DL=5.000



DL=5.000



DL=5.000



DL=5.000

造成区分	
切土	
盛土	

令和 7 年度	
業務名	令和7年度 都市防災総合推進事業 白丸地区測量業務
路線名	
箇所	能登町字白丸地内
図名	造成計画断面図
縮尺	S=1:200 (A1) S=1:400 (A3)
図面番号	3 / 4 枚の内
能登町	

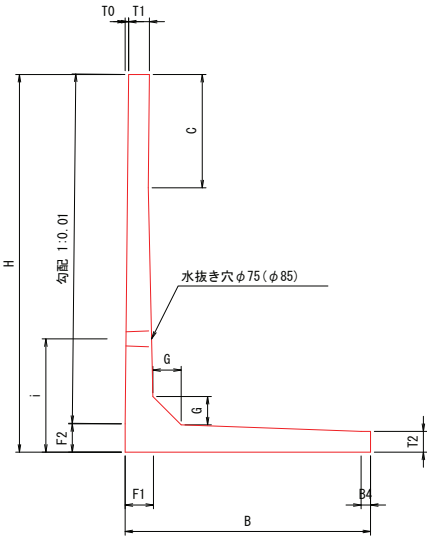
※FHは擁壁天端を示す

5) 擁壁の構造図

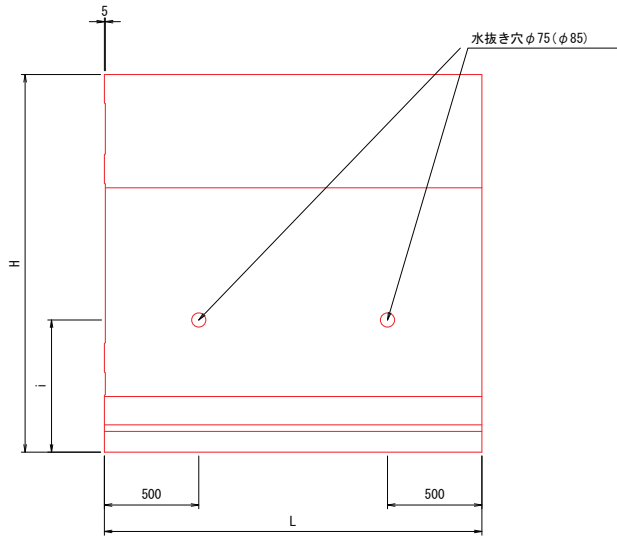
L型擁壁（大臣認定擁壁）

設計条件	
上載荷重	Q = 10 kN/m <sup>2</sup>
土の内部摩擦角	φ = 25°
土の単位体積重量	γs = 17 kN/m <sup>3</sup>
コンクリートの単位体積重量	γc = 24 kN/m <sup>3</sup>
基礎の摩擦係数	μ = tan φ (ただし、0.6を越えない)
盛土勾配	水平
設計水平震度	Kh = 0.25

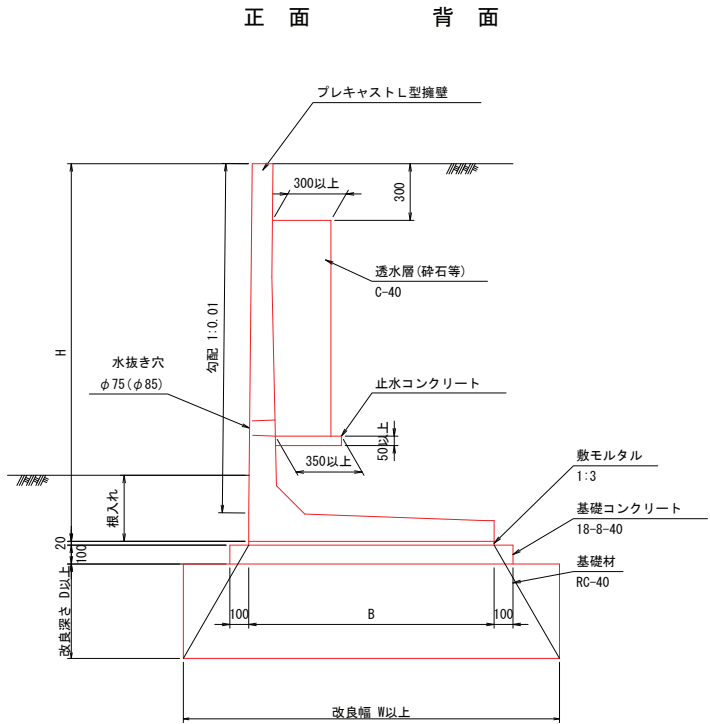
断面図



背面図



L型擁壁標準断面図



大臣認定擁壁 必要根入れ深さ	
土質条件	必要根入れ深さ
基礎地盤の内部摩擦角が30°未満の場合	擁壁の高さの 20/100 以上かつ 45cm 以上

※擁壁の高さは、地盤面より上の地上高さをいう。

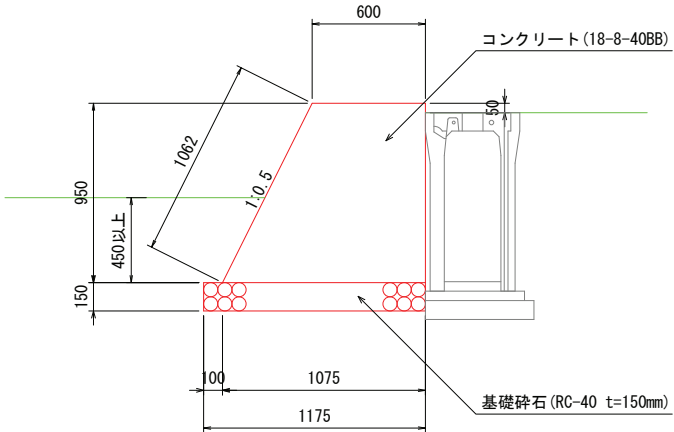
規格表

呼び名	H	B	L	B4	C	F1	F2	T0	T1	T2	G	i	D	W	参考質量 (kg)
700	700	560	2000	-	-	100	100	6	100	100	100	500	500	1140	580
800	800	620	2000	-	-	100	100	7	100	100	100	500	500	1200	657
900	900	680	2000	-	-	100	100	8	100	100	100	500	500	1260	734
1000	1000	740	2000	-	-	100	100	9	100	100	100	500	500	1320	811
1200	1200	850	2000	20	400	120	120	10.8	100	100	120	500	500	1430	1038
1250	1250	910	2000	-	350	120	120	11.3	110	110	120	500	500	1490	1154
1300	1300	910	2000	-	400	120	120	11.8	110	110	120	500	600	1610	1180
1400	1400	1050	2000	-	300	130	130	12.7	110	110	130	500	500	1630	1365
1500	1500	1050	2000	-	400	130	130	13.7	110	110	130	500	600	1750	1418
1600	1600	1260	2000	110	400	150	150	14.5	110	110	150	600	600	1960	1707
1750	1750	1260	2000	110	550	150	150	16.0	110	110	150	600	600	1960	1787
1800	1800	1260	2000	110	600	150	150	16.5	110	110	150	600	600	1960	1813
2000	2000	1410	2000	160	600	150	150	18.5	110	110	150	600	700	2230	2026
2200	2200	1780	2000	200	700	180	180	20.2	120	120	180	750	600	2480	2705
2250	2250	1780	2000	200	750	180	180	20.7	120	120	180	750	700	2600	2734
2300	2300	1780	2000	200	800	180	180	21.2	120	120	180	750	700	2600	2763
2400	2400	1780	2000	200	900	180	180	22.2	120	120	180	750	800	2720	2820
2500	2500	1780	2000	200	1000	180	180	23.2	120	120	180	750	900	2820	2878
2600	2600	2130	2000	230	600	210	210	23.9	120	120	210	1000	800	3070	3541
2750	2750	2130	2000	230	750	210	210	25.4	120	120	210	1000	900	3170	3627
2800	2800	2130	2000	230	800	210	210	25.9	120	120	210	1000	900	3170	3656
3000	3000	2130	2000	230	1000	210	210	27.9	120	120	210	1000	1100	3410	3771

※施工の際には適切な試験を実施し、支持地盤が擁壁ごとの設計支持力度（上表参照）を満足しているか確認を行うこと。  
※支持地盤が設計支持力度を満足しない場合、セメント固化材による基礎地盤の改良を行い目標とする許容支持力値以上を確保すること。  
※セメント固化材は六価クロム溶出量低減型を用いることを標準とし、配合試験により配合添加量を決定のうえ、施工監理者等の確認を受けた後に施工を行うこと。  
※基礎地盤改良を行う際には、地中に埋設物等の支障物がないことを十分に確認のうえ施工を行うこと。  
※擁壁の埋戻しは、砂質土(単位体積重量19.0kN/m<sup>3</sup>、内部摩擦角30°)相当以上の良質土を用いて埋戻しを行うこと。

印が本工程使用タイプを示す。

重力式擁壁 標準図



必要地盤反力度：25kN/m<sup>2</sup>

【設計条件】	
項目	長期常時
土の単位重量	γs=17kN/m <sup>3</sup> (1.7tf/m <sup>3</sup> )
コンクリートの単位重量	γc=23kN/m <sup>3</sup> (2.3tf/m <sup>3</sup> )
表面載荷	q=10kN/m <sup>2</sup> (1.0tf/m <sup>2</sup> )
裏込め土の内部摩擦角	φ25°
支持地盤の摩擦係数	μ=tan φ

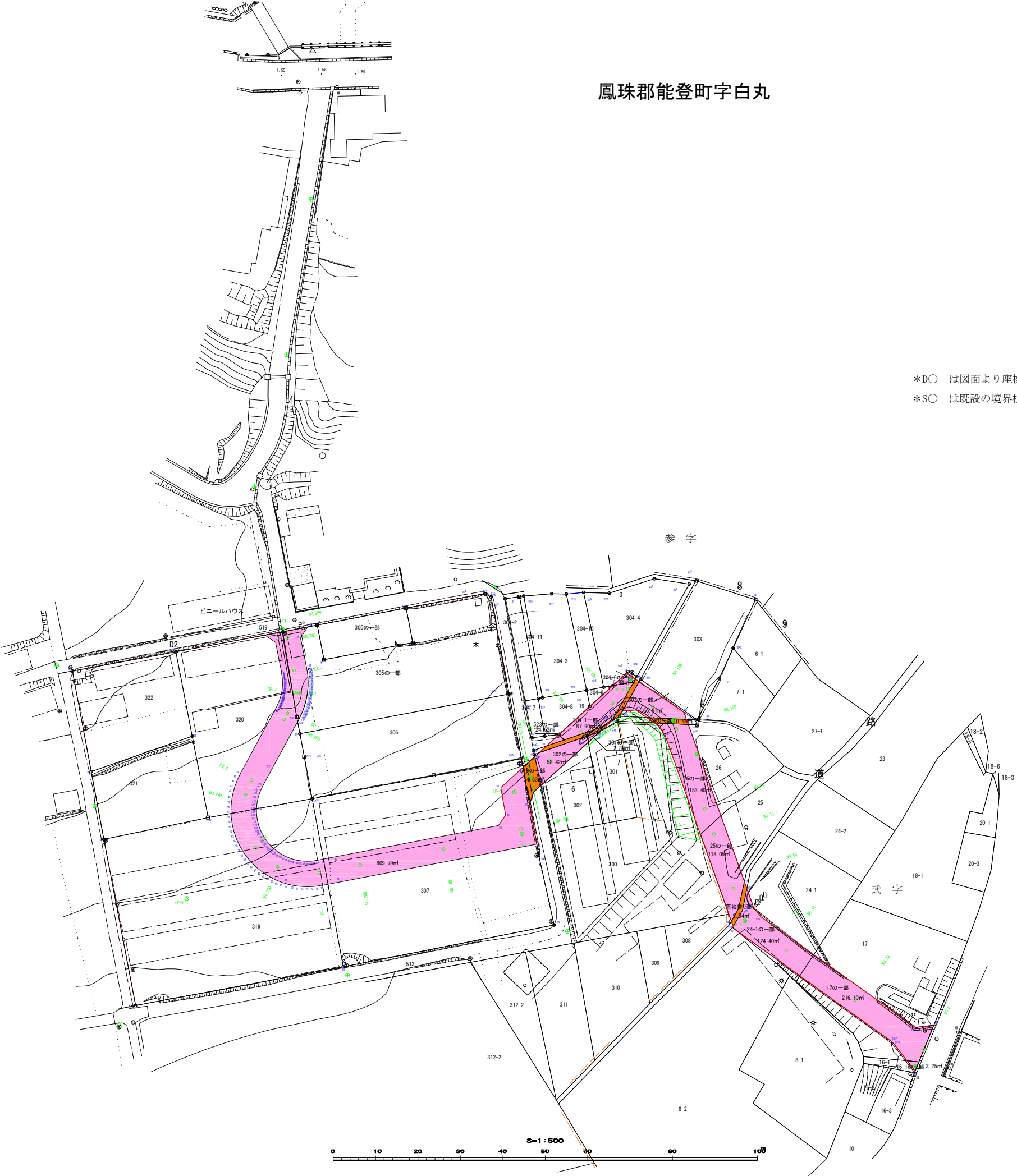
注) 施工時に上記設計条件の相違並びに置き換えが想定される範囲等があれば現場にて確認の上、事業者若しくは設計者に報告の上、再検討を行い施工すること。

(1.0m当り)			
材料表	名称	規格	数量 単位
コンクリート	一般 小型	18-8-40BB W/C≤60%	0.796 m <sup>3</sup>
	基礎砕石	RC-40 t=150mm	1.18 m <sup>2</sup>

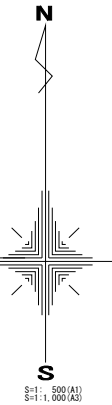
令和 7 年度		測地成果 2024
事業名	令和7年度 都市防災総合推進事業	
路線名		
箇所	鳳珠郡能登町字白丸地内	
図名	L型擁壁構造図	
縮尺	S=1:20 (A1) S=1:40 (A3)	
図面番号	1/1 枚の内	
能登町		



6) 道路計画図



\*D○ は図面より座標読取した点  
\*S○ は既設の境界杭、境界石



凡 例	
<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	開発区域 : 8,757.25㎡
<span style="background-color: pink; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	新設する道路 : 1,646.04㎡
<span style="background-color: orange; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	重複する道路 : 69.27㎡
<span style="border-bottom: 1px dashed black; display: inline-block; width: 20px;"></span>	字 界

令和 7 年度	測地成果 2024
事業名	令和7年度 都市防災総合推進事業
路線名	
箇所	鳳珠郡能登町字白丸地内
図名	公共施設の新旧対照図
縮尺	S=1: 500 (A1) S=1:1,000 (A3)
図面番号	11 / 16
能 登 町	

7) 地盤調査結果

調査位置平面図

鳳珠都能登町字白丸



凡例

- 調査ボーリング位置 N=1点
- CBR試験 N=3箇所

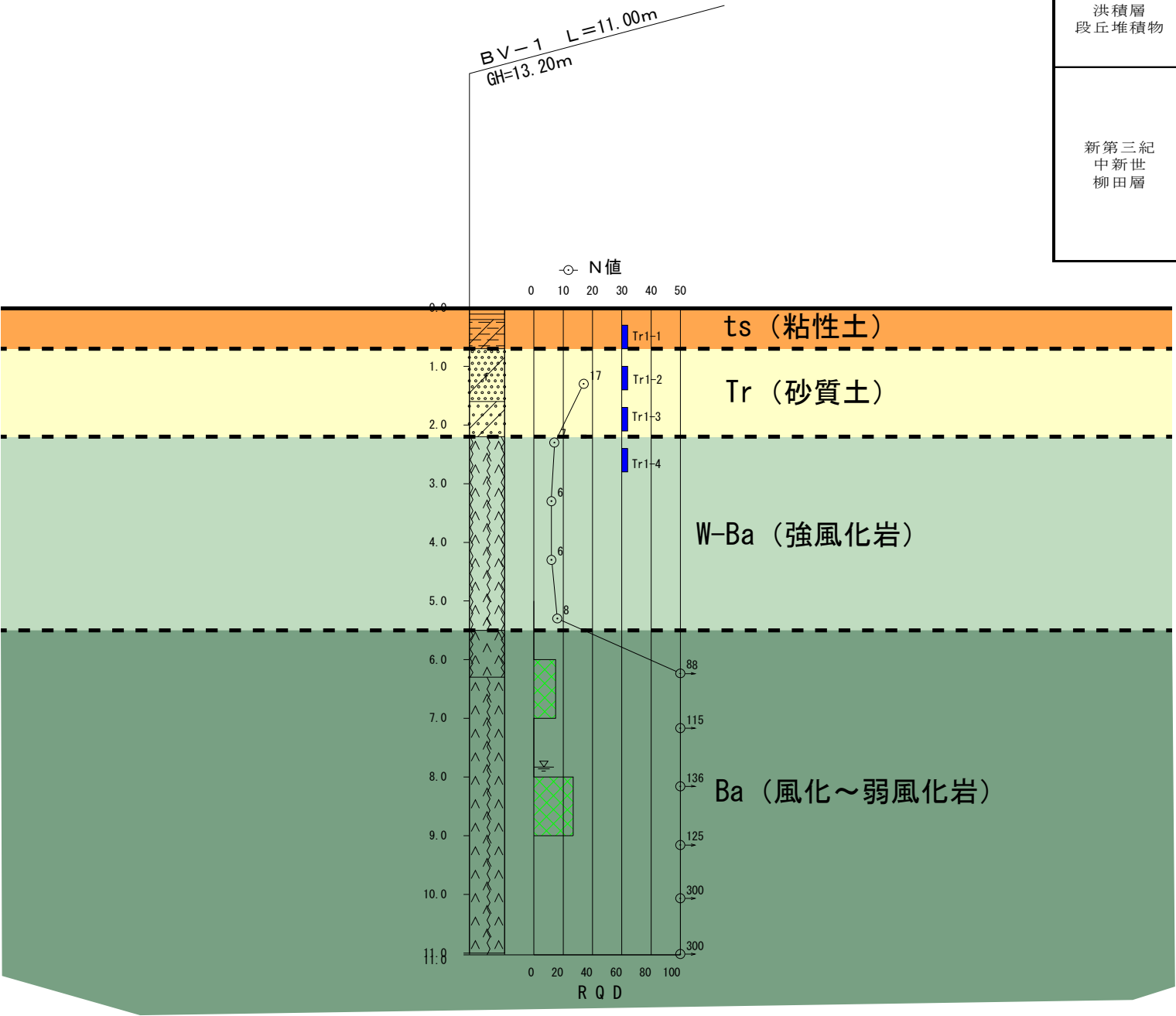
令和 7 年度		測地成果 2024
事業名	令和7年度 都市防災総合推進事業	
路線名		
箇所	鳳珠都能登町字白丸地内	
図名	現況図	
縮尺	S=1: 500 (A1) S=1: 1, 000 (A3)	
図面番号	枚の内	
能登町		



ボーリング調査結果図

地層区分表

地質時代	地層区分	地層記号	平均N値 (範囲)	室内土質試験	N値による地盤定数			備 考
				平均湿潤重量 γ t (kN/m³)	湿潤重量 γ t (kN/m³)	粘着力 c (kN/m²)	内部摩擦 角 φ (度)	
現世	粘性土	ts	-	16.0	14	15	10	耕作土、表土。
洪積層 段丘堆積物	砂質土	Tr	17 (17)	17.0	17	0	25	比較的均質な状態の砂質土。 中位段丘堆積物。
新第三紀 中新世 柳田層	強風化 玄武岩溶岩	W1-Ba	7 (6～8)	14.8	16.8	48.5	27.3	岩組織は残すものの未固結～半固結状となる玄武岩。 強風化状態でハンマーの軽打でボロボロ状にく碎ける。脆い。
	風化～弱風化 玄武岩溶岩	Ba	116 (88～136)	-	21.6	123.8	35.6	割れ目多い玄武岩溶岩。ハンマーの中打で金属音を発し密着亀裂部より割れる硬さ。 硬質である。



凡 例

柱状図記号		調査記号
(主記号)	(副記号)	
粘土	砂混じり	BV ; 調査ボーリングNo.
シルト	シルト混じり	L ; ボーリング掘進長
細砂	粘土質	GH ; ボーリング孔口標高
玄武岩	強風化	N値 ; 標準貫入試験値
	風化	▽ ; 孔内水位
	弱風化	□ ; 土質試験試料採取位置